

伊方町議会第69回定例会に係る一般質問通告内容

質問者	質問の大綱	質問の相手
木嶋 英幸 議員	1 環境保護と観光振興について	町 長
質問の要旨		
高門町政の2期目がスタートして1年半が過ぎます。1期でも「農業・水産業そして観光の振興」に取り組んで参りました、2期の所信の際にも「佐田岬半島の豊かな自然を活かしたまちづくり」を推進したいと考えており「瀬戸頂上ライン整備の具体化」を進めて参ります。と明言されました。この場所は、自然が残っていて、南は太平洋・北は瀬戸内海・西は九州・東には松山空港の滑走路が見える360度の大パノラマがある「せと風の丘パーク」が中央にあり、人を引き付けるスポットとしては半島の中でも指折り数えられる場所だと私も感じております。町長がここにスポットをあて沢山の人が来られて、それに伴い地場産業が生まれたらいいなと願っており、是非実現して欲しいと思います。それとは裏腹に最近、小型風車の乱立、ソーラーパネルの設置が異常に目に付く様になりました。自然エネルギーの活用は世の中の流れなのかも知れませんが、少し慎重に検討しなければならない時期になって来たのではないのでしょうか。町長肝入りの先程申した「せと風の丘パーク」の入り口にも今年に入ってからだと思いますが風車とソーラーパネルが設置されました。「せと風の丘パーク」へ行くのに必ず目に入る入り口の一角に自然環境に全く似つかわしくない構造物ができて驚きと言うより悲しい気持ちになりました。2期目スタートしてから何回くらい現地視察をされ、現状を把握されていますか。町独自の環境保護条例などを定め、法的に規制する事はできないのでしょうか。又、契約時には撤退する時に産業廃棄物とみなされる物は全て撤去する事の確認もお願いします。所信を実現する為にも町長がリーダーシップをとって、この様な事案が今後起こりにくい整備を整えて欲しいと思いますが、町長はどの様にお考えかお尋ねします。 私の知人で大分の片田舎が気に入り、移住し音楽活動をしていましたが、近年周りにソーラーパネルが張り巡らされてこんな環境ではフォークシンガーとして歌が作れないとの思いで東京に帰って行きました。日本人なら誰でも知っていると言っても過言ではない位の歌手なので大分県にとっても物心両面物凄いい痛手となったそうです。今では後の祭りです。取り返しがつきません。こんな事にもならないようお願いします。 残り半期程になりました。町民にも分かる様に環境整備や観光振興をどの様にいつ頃を目標にやろうとしているのかお答えください。		